

令和4年度第1回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

開催日時 令和4年7月23日（土）午後2時～午後4時

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者

（委員） 秋葉委員、石本委員、大槻委員、岡本委員、鴨委員、木之内委員、久保委員、栗原委員、小林委員、小山委員、迫谷委員、笹塚委員、茂田委員、末永委員、園委員、田宮委員、豊田委員、野口委員、野崎委員、馬場委員、廣田委員、福邊委員、松澤委員、山本委員

（事務局） 長瀬緑区長、柏原緑区副区長兼地域振興課長、村田緑保健福祉センター所長兼高齢障害支援課長、土谷地域づくり支援室長、石黒緑区くらし安心室長、石毛社会福祉協議会緑区事務所長 他4名

計 34名

【次第】

- 1 開 会
- 2 緑区長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 事務局紹介
- 5 議 題
 - (1) 委員長・副委員長の選任について
 - (2) 第5期緑区支え合いのまち推進計画について
 - ア 計画の位置づけ及び策定経過等について
 - イ 第5期計画の進め方について
- 6 その他
 - (1) 今後のスケジュールについて
 - (2) 令和3年度取組状況及び令和4年度計画の照会について
 - (3) 広報誌「みどりのきずな」について
- 7 閉 会

【議事要旨】

議題（1）委員長・副委員長の選任について

事務局の進行により、委員長1人及び副委員長2人について、互選により選任を行った。委員長については、大槻委員から岡本委員を推薦する提案があり、他に推薦者はなく、賛成多数で岡本委員を委員長に選任した。

次に、1人目の副委員長については、石本委員から、地区部会から委員長が選出されたため、地区連協から副委員長を選出してはどうかとの提案があった。

石本委員の提案後、地区連協からの推薦について他委員からの提案がなかったところ、改めて石本委員から、区連協会長である大槻委員を推薦する提案があり、他に推薦者はなく、賛成多数で大槻委員を副委員長に選任した。

また、2人目の副委員長については、岡本委員から田宮委員を推薦する提案があり、他に推薦者はなく、賛成多数で田宮委員を副委員長に選任した。

議題（２）第５期 緑区支え合いのまち推進計画について及びその他（１）今後のスケジュールについて

事務局より、第５期緑区支え合いのまち推進計画について、資料２に基づき、ア計画の位置づけ及び策定経過等について及び第５期計画の進め方について説明を行った。

<質疑応答> **※簡潔にするため、文体は常体で表記しています。**

- (岡本委員長) 今までなかった中間見直しが今回ある。説明をお願いしたい。
- (事務局) 第５期計画は、元々、令和３～８年度の６年間の計画期間を想定しており、３年間経過した令和６年度に中間見直しを行うことを予定していた。しかし、新型コロナウイルスの影響により、第５期計画の策定が１年延期されるとともに、具体的な取組みの策定を行えなかった。今回は、令和６年度の中間見直しに向け、令和４・５年度に具体的な取組みを策定していくことになる。
- (岡本委員長) 次回会議ではグループ分けをして検討するということであるが、各グループの長は決めるのか。
- (事務局) 各グループの意見交換の内容を発表するような方は必要になると考える。
- (豊田委員) 平山地区は、全員初参加で内容的によくわからない。次回の会議でグループ分けして検討するのは厳しい。
- (事務局) 次回の会議では、各グループで各団体の活動状況や課題を共有していただくことをメインに考えている。後程説明するが、資料３に基づいて、本日委員の皆様へ令和３年度の取組状況や令和４年度の計画について照会させていただく。各団体の回答をとりまとめ、次回の会議で資料提供をするので、その資料に基づき各団体の活動状況等について、情報共有していただければと考えている。
- (岡本委員長) 平山地区の松澤委員はご意見あるか。
- (松澤委員) 自治会にいと支え合いのまちという概念が薄い。自治会としてそういった活動はしていないので、これからどう支えあったらよいか考えていきたい。
- (岡本委員長) 笹塚委員はいかがか。
- (笹塚委員) 民生委員の立場で把握している活動はある。平山地区全体の活動を把握するのは難しいが、なんとかなると思う。
- (岡本委員長) 馬場委員はいかがか。
- (馬場委員) 平山地区の課題について皆さんと共に考えていきたいと思う。
- (事務局) 平山地区に関しては、別途、個別に説明する機会を設けさせていただければと思う。
- (岡本委員長) 豊田委員はどうか。
- (豊田委員) 各地区の皆さんにも協力いただき、課題があったら皆さんと共に考えていきたい。
- (木之内委員) ２点、質問がある。１点目だが、今後のスケジュールについて、次回までにどのくらいのインターバルで協議したらよいか。
- (事務局) 次回の会議の前に各グループで協議する場を設けたらどうかという質問でよいか。
- (木之内委員) 次回の会議の前に各グループでその内容に沿った打ち合わせを事前にしてきなさいということではないのか。

- (岡本委員長) ここでやるのか前もってやるのかということだと思うが、事務局、説明してください。
- (事務局) 次回の会議の前に各グループで事前協議を行うことは予定していない。
次回の会議の場で、各団体の活動状況等について資料提供をするので、その資料に基づき情報共有していただきたいと考えている。
- (木之内委員) 各団体の活動状況をまとめた資料が配付されるので、その資料を基に各グループで課題の共有をするということによいか。
- (事務局) その通りである。先に今後のスケジュールを説明させていただければと思う。

事務局より、今後のスケジュールについて、資料2に基づき、説明を行った。

- (岡本委員長) 次回の会議では、各グループで事前に集まって話し合ったことを報告するのか、書面でまとめられた内容を報告するのかを明確にしてほしい。
- (事務局) 事前に各グループで個別に会議を行うことは予定していない。
各団体の取組状況について回答を取りまとめたものを次回の会議で資料提供するので、同資料に基づき、各団体の状況について報告し合い、情報共有していただければと考えている。
- (鴨委員) 各エリアのグループを横糸とすると、施設・個別団体のグループは縦糸のような立場になる。災害等においては縦糸に配慮しないといけない。こういったことを協議する必要があるのではないか
- (田宮副委員長) グループ分けの意図が分からない。私はおゆみ野を中心に活動をしているのでおゆみ野のことしかわからない。もう一つ、みどりのきずなについて、以前記事を書くのに区役所のくらし安心室にお願いしたことがあるが、関連ないから書けないと言われたことがある。そういったことのないようにしていただきたい。
- (事務局) 皆さん一生懸命考えていただきありがたい。まずは、2年かけて進めていく計画なので、事前に集まるということには行わない。
次回、このメンバーで集まりグループに分かれて情報を共有していただく、その情報を共有する資料が皆さんにお配りする資料であり、それを記入いただいて、まとめたものをお渡しするので事前には集まらない。
また、グループ分けの件については、まず各エリアの方と施設・個別団体の中で分かれる。個別団体の方でも、情報を共有していただきたいことがあると思うので、話をさせていただいた上で、その後エリアの中に入っていたいただきたいと考えている。
- (鴨委員) 情報の共有とおっしゃったが、次回の会議で資料を読んで方向性を見つけるということか。
- (事務局) 鴨委員の発言どおり新たに追加すべき事項もあると思う。その時に話し合っ
て決めていただく。
- (岡本委員長) 次回会議の前に各グループの会は開かないというのはわかったが、11月の会議で各グループが集まっただけですぐにまとまるかが心配である。
集まるか否かより、どのように協議を進めていったらいいのかが問題だと思う。たとえば、おゆみ野女性の会の場合、おゆみ野エリアのグループに入ったほうがやりやすいなど、グループ分けについて、このまま行くのか、構成を変えるのか検討してほしい。

- (事務局) グループ分けはこれで固定ということではなく、まずはいったん情報共有や課題もたくさんあると思うので、話し合っていたらうえで、各エリアに入っていたらと考えている。
- (野口委員) 各団体の取組状況についてどのような形でまとまるのかが分からない。
グループ分けについては、整理されている形なのかなと思う。だが、個別団体に関しては、扱う内容が違うので、それを整理していただいて、今後の活動や見直しの中で、不都合があることに関してはフレキシブルに変えていく方式を取られたほうがよいと思う。
また、次回までに宿題を提出していただきたいということだが、できれば1～2週間前ぐらいに郵送で各委員に配布していただくとありがたい。
- (事務局) 各団体の取組状況をまとめた資料については、次の会議の前に郵送で配付させていただく。
- (岡本委員長) 鴨委員、ご意見があったらどうぞ。
- (鴨委員) 私たちが各グループをまわって協議することで課題が分かりやすくなるのではないかと。課題を早く明確にしないといけない。
- (岡本委員長) 施設関係者の方にも意見を聞いてみたいと思う。
その前に、木之内委員が先ほど言っていた2点目についてお願いしたい。
- (木之内委員) 計画の取組状況の照会については理解した。
今まで取り組んできたテーマはこれだけではないと思う。新たに付け加えたいテーマは新しく取り組むという位置づけでテーマ設定してよいか。
また、市計画冊子の204ページに記載されているアンケート結果等も斟酌して、緑区も取り組むべき。個別団体に関しては、個人的には全部の団体に私たちのグループに入ってもらいたい。
- (岡本委員長) ご意見は取り入れて考えていきたい。施設・個別団体の方でご意見等あると思うが、廣田委員は何かご意見はあるか。
- (廣田委員) 僕らが考えた課題を地域の方に落とし込んでいく必要がある。皆さんと情報を共有してどのように地域福祉計画の課題と結びつけて具体化していくかを考えなければならない。
- (岡本委員長) 石本委員はご意見あるか。
- (石本委員) 施設同士の情報共有は必要で今回のグループ分けは良いと思う。どこかで各エリアと情報共有できると良い。
- (岡本委員長) 末永委員はご意見あるか。
- (末永委員) グループ分けに関して、業界団体ごとよりは、地区ごとのグループに参加したい。自事業所が立地する地区の方と交流し、きずなを深めるために、地区の取組に参画させていただけたらと思う。
- (岡本委員長) 小林委員、いかがか。
- (小林委員) グループ分けの方はこの形で良いと思う。場合によっては移動があっても良い。
- (岡本委員長) ひとまず、この分け方で進めてみて、何か課題があれば修正していけばよいと思う。施設の方の意見を活かしていきたい。
- (事務局) まずは課題の整理をし、あとから入って議論をしていただきたいと思う。
- (岡本委員長) あんしんケアセンターの方でご意見がある方はいるか。
- (園委員) あんしんケアセンターは65歳以上を対象としているため全世代が対象となると問題をまとめてから地域の方に入っていく方がいいと思う。

- (岡本委員長) 民生委員や町内自治会の方でご質問はある方は、ご意見をどうぞ。
- (久保委員) おゆみ野地区には3地区の民生委員がいる。自身が担当している地区以外のことかわからないとおゆみ野全体の問題点が把握できない。
- (事務局) 民生委員の方については、民児協の理事会において、各地区会長の皆様に個別に取組状況の照会をさせていただくので、その結果を事務局でまとめ、提供させていただく。

その他(2) 令和3年度取組状況及び令和4年度計画の照会について及び(3) 広報誌「みどりのきずな」について

事務局より、資料3に基づき(2) 令和3年度取組状況及び令和4年度計画の照会について、参考資料3に基づき(3) 広報誌「みどりのきずな」についての説明を行った。

※説明後、委員長より今回の会議で発言の無い委員に対して意見、感想が求められた。

- (山本委員) 今年度から地区部会長になったので、令和3年度の取組状況について提出するよう言われても厳しい。
- (福邊委員) 以前は社会福祉協議会緑区事務所にいたので、事務局側で参加していた。現在の生活支援コーディネーターの立場では、フレイル予防のための外出支援等が課題として考えられる。土気地区の課題について、皆さんと情報共有しながら進めていきたい。
- (迫谷委員) 生活支援コーディネーターとして未熟だが、少しでも地域の方のお手伝いできればと思う。
- (小山委員) 取組状況の報告について、地区連協のやり方があるので、そのまま報告するのであればよいが、計画の方針に従って報告をするよう言われても厳しい。
- (事務局) 活動している目線は、地区部会や民生委員と自治会では差異があると思うが、見方によっては同じことをやっていて、福祉や助け合いの活動に結びついているものもあると思う。報告していただく活動に制限はないので、普段皆さんが取り組んでいる活動を報告していただきたい。
- (栗原委員) 民生委員として活動しているが、民生委員以外の団体の方の意見を聞けてとても勉強になった。
- (秋葉委員) このような情報共有の場があると色々なものが見えてくると思う。他の地区や他の団体の活動を参考にして、良いものは自身の活動に取り入れていければと思う。
- (大槻副委員長) 町内自治会も社協地区部会もあまりにもやるが多すぎる。まとめていくのは難しいものがあるが、誉田地区は、同じ人間が町内自治会と社協地区部会の活動をしているので、意外とまとめていけるのではないかなと思う。

閉会

岡本委員長が閉会の挨拶をし、令和4年度第1回緑区支え合いのまち推進協議会を閉会した。